

# 情報BOX

## 案内 がん出前検診

乳がんは、女性がかかりやすい「がん」第1位です。今年まだ検診を受けていない方は、この機会にぜひ受診してください。

### ■日時

2月26日(土)13:30～14:30

### ■会場

ハーツつるが

### ■対象・自己負担

○乳がん検診(要予約)・1,000円  
40歳以上で過去1年間検診を受けていない女性

○大腸がん検診(予約不要)・500円  
40歳以上の方

※この検診では、町発行の乳がん検診無料クーポン券は使用できません。

### ●申し込み・問い合わせ

二州健康福祉センター TEL 22-3747

## 案内 看護職就職相談会

次の日程で相談会を開催します。参加費は無料で、事前申し込みも不要です。お気軽にお越しください。

### ■日時

2月26日(土)12:30～16:00  
(受付は15:30まで)

### ■会場

福井県看護協会(福井市北四ツ居町601)

### ■対象

看護職資格をお持ちの方  
看護学生(県内外を問いません)

### ■その他

求人担当者から個別に説明を受け、相談することができます  
経験者(非常勤含む)コーナー、学生コーナーがあります

### ●問い合わせ

福井県看護協会・福井県ナースセンター  
TEL 0776-52-1857

## 募集 ふるさとサポーター

若狭町の魅力を日本全国にPRし、町の知名度アップ、町への来訪促進、特産品の販売促進などで活躍いただく「若狭町ふるさとサポーター2期生」を募集します。

### ■対象

若狭町出身または町内在住の18歳以上(高校3年生可)30歳以下の方(15名程度。応募者多数の場合は選考)

### ■サポーターの役割

若狭町の宣伝(ブログ、口コミ)、特産品のPRなど

### ■応募方法

住所・氏名・年齢・応募理由を記入し(様式不問)、3月16日(水)までにFAXカメールで送付

FAX 45-1115

メール seisaku@town.fukui-wakasa.lg.jp

### ●問い合わせ

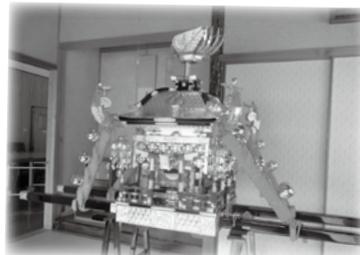
政策推進課 TEL 45-9112



## 報告 宝くじ助成で整備

宝くじの売り上げ金を財源とした「コミュニティ助成事業」で、下吉田集落がみこしと法被を購入しました。

宝くじの売り上げ金は、公共施設や備品などの整備にいかされています。



下吉田集落が購入したみこし



宝くじは豊かさ築くチカラ持ち。

宝くじは、広く社会に設立されています。

### ●問い合わせ

政策推進課 TEL 45-9112

案内

## 自動車登録等お早めに

2、3月は自動車の検査・登録申請が集中し、窓口が大変混雑します。

次に該当される方は早めの申請手続きにご協力をお願いします。

○自動車の名義変更、廃車手続き、住所変更手続きをしていない方

○2、3月に車検を受けようとする方（有効期限の1か月前から受検できます）

※軽自動車については、軽自動車検査協会 福井事務所（TEL 0776-38-1509）へお問い合わせください。

## ●問い合わせ

福井運輸支局

登録関係 TEL050-5540-2057

（自動案内音声流れますので、続けて「026」を押してください）

検査関係 TEL0776-34-1603

募集

## 通信制で学んでみませんか

「学ぶチャンスを逃したから」、「退職したから」、「余裕ができたから」と理由は様々ですが、年齢に関係なく学べる道守高校で、高校生活を送ってみませんか。

月に3回程度、日曜日に登校し、レポートを提出して学ぶというコースです。

多くの中高年の方（22年度最高齢70歳）が学んでいます。

## ■個別相談会（電話予約必要）

2月6日（日）、13日（日）、27日（日）

3月6日（日）

上記の日に来校できない場合はお問い合わせください。

## ■出願期間

3月16日（水）～18日（金）

3月24日（木）～25日（金）

## ●問い合わせ

福井県立道守高等学校 通信制 入学係

〒918-8575 福井市若杉町 35-21

TEL 0776-36-1184

案内

## 無料法律相談会

関西大学と福井県との連携による無料法律相談会です。

## ■日時

3月5日（土）13:00～16:00

## ■場所

プラザ萬象（敦賀市東洋町1-1）

## ■相談内容

関西大学の法学部生、教授、OB弁護士、県顧問弁護士が無料で法律相談に応じます。秘密は厳守します。

## ■申込期間

2月15日（火）から、申込みを受け付け、定員（16名）になり次第申込み終了

## ■申込方法

電話、FAX、メールでの申込み

## ●申込み・問い合わせ

福井県情報公開・法制課

TEL 0776-20-0246（8:30～17:30）

FAX 0776-26-1171

メール koukaihou@pref.fukui.lg.jp

案内

## くらしなんでも相談

法律問題をはじめ日頃の暮らしの中で困っていることに対し、弁護士や金融の専門家がおこたえします。

## ■日時・会場

2月26日（土）10:00～13:00

敦賀市男女共同参画センター  
（敦賀市三島町2-1-6）

2月27日（日）10:00～13:00

小浜勤労福祉会館  
（小浜市後瀬町1-6）

## ■対象、費用

どなたでも無料で、日常生活での困りごとの相談が受けられます。

## ●問い合わせ

福井県労働者福祉協議会

TEL 0776-21-5929

ライフサポートセンター福井

TEL 0120-629-417



## 相続に関する無料相談

2月を「相続登記はお済ですか月間」とし、無料相談を実施します。相続登記をはじめとして、遺言、遺産分割協議など相続に関する相談に応じ、適切にアドバイスします。

### ■日時

2月1日(火)～28日(月)  
時間は各司法書士に事前確認

### ■会場

県内各司法書士事務所  
(ホームページをご覧ください)  
<http://www.fukuishiho-shoshi.or.jp>

### ■費用、申し込み

相談は無料で、申し込みは不要です。

### ■その他

相続登記は長期間放置しておく権利関係が複雑になり、売却や融資の手続きが順調に進まなかったり、様々なトラブルが発生することが少なくありません。そのため、できるだけ早い時期の登記手続きが重要となります。

### ●問い合わせ

福井県司法書士会  
TEL 0776-30-0001



## 通信教育で福祉学習を

社会や人間のあり方を見つめる科目や「生活支援」「地域子育て支援」「防災まちづくり」「NPOの実際」「認知症」「介護」などの分野について1科目から選べます。

また、「ボランティア学習」など、地域とのつながりの中での学習もありコミュニティ・ボランティアとしての実践力を養います。

### ■出願期間

2月1日(火)～3月22日(火) 必着

### ■学習スタイル・学費

#### 【科目履修生】

1科目から4科目を自由に選択  
(1、2年過程へ編入可能)

#### 【1年過程】

1年間で6科目を学習  
(2年過程へ編入可能)

#### 【2年過程】

2年間で11～12科目を学習  
※上記3過程は、1科目につき20,000円程度、別途テキスト代(2,000～3,000円程度)必要

#### 【教養生】

1～4科目を自由に選択  
※他の過程と教材は同じで、授業出席と単位認定はありません。「スクーリングに通えない」方などにお勧めです。  
1科目につき、17,500円、別途テキスト代(2,000～3,000円程度)、教育運営費5,000円必要

### ●問い合わせ

入学案内書(無料)の請求は  
NHK学園高等学校専攻科「社会福祉コース」TEL 042-572-3151 (9:30～17:00) <http://www.n-gaku.jp>



## 農業者労働災害共済制度

町内の田畑などで、農業労働による災害を受けた方を救済するための共済制度です。

万が一の時に備え、ぜひ加入しておきましょう(福井県農業共済組合加入の場合は申し込み不要)。

### ■給付対象

掛金を納めた人とその家族、納めた人を雇い主とする雇用労働者

### ■共済掛金(年間)

- ◇水稲・畑・果樹面積割  
100円/10a
- ◇家畜の頭数割  
50円/1頭
- ◇均等割  
300円/1農家

### ●問い合わせ

産業課 TEL 45-9102



# すまいる

子育て・介護・健康・食育

●問い合わせ 健康課 TEL62-2701

## あなたと、 あなたの大切な人の こころは元気ですか？

苦しい事があっても頑張り過ぎると、  
疲れがたまって心身不調が現れ心の病  
気となります。心の不調を疑う症状が  
ないか確かめてみませんか・・・

**A**

- ほとんど毎日、憂鬱でしかたない
- ほとんど毎日、何をしてもつまらないし、喜びを感じない

**B**

- ほとんど毎日、眠れないか、早朝3時や4時頃に目がさめる
- いらいらして仕方がないか、動きがひどく低下している（おっくう）
- いつも「自分はどうしようもない人間だ」「悪い人間だ」などと考える
- ほとんど毎日、疲れやすくて仕方がない
- 考えが進まず、集中力、決断力がない
- ほとんど毎日、ひどく食欲がない
- 死んだ方が楽だと考える

**判定**

（アメリカ精神医学会うつ病診断基準による）

- Aで2つ、Bで3つ以上該当した場合
- Aで1つ、Bで4つ以上該当した場合

うつ病の  
疑い

こんなことも、こころの不調のサインです

- 朝の目覚めが悪い
- 仕事や学校に行くのがおっくう
- いつも読んでいた朝刊を読む気がしない
- 週の始まりや、休日明けは憂鬱に感じる
- 悲しい沈んだ気持ち、自分が悪いと思う
- 会話が少なく、人と会いたくない
- 疲れやすい、何もする気がしない
- 悩みが絶えず、心が休まらない
- 周囲の人の目が気になる
- ささいな事でイライラする
- 以前と比べ表情が暗く、元気がない
- 仕事や家事の能率が悪くなる

『こころが疲れているかも・・・』と感じる時は、  
早めに専門機関に相談しましょう

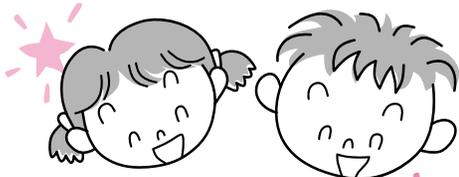
- （月～金 8:30～17:00）
- 二州健康福祉センター TEL 22-3747
- 若狭健康福祉センター TEL 52-1300
- ほっとサポート福井 TEL 0776-26-4400
- （月～金 8:30～17:30）
- 若狭町健康課 TEL 62-2721
- （毎月10日 24時間）
- 自殺予防いのちの電話 TEL 0120-738-556
- ※祝祭日・年末年始休業

働く人のメンタルヘルスサイト（厚生労働省）

<http://kokoro.mhlw.go.jp/>

すまいる

キラリ



気山っ子

気山保育所

保育所(園)を紹介するコーナーです。

子どもたちはどんな遊びや生活をしているのでしょうか。

また、保護者の方は保育に何を求めているのでしょうか。

## 自然の素材で、子どもの創造力を高めます

近年、わたしたちの暮らしはますます便利になってきています。しかし、その一方で自然とのかかわりが薄らいできています。

保育所では木や火などをはじめ、自然や本物とのふれあいやかかわりを取り入れた保育を進めています。

### 木とのふれあい

ぬくもりを感じる素材―「木」。

毎年、保育所近くの製材所から板や木切れをゆずってもらい、「木」を遊び道具のひとつとしています。子どもたちは木の感触を確かめたり、匂いをかいだりして木が持つ自然のぬくもりを感じ取っています。

4、5歳児の子どもたちは、板と木切れを組み合わせて自分たち手作りの遊具「シーソー」を作ったりします。上下の動きに加え、左右に回るのが子どもたちの自慢。

また、板を並べたり、積んだり、組み合わせたりして家作りもします。この家の中には赤ちゃんが描いてあったり、土や石に木の実や葉っぱを飾り、ごはんやケーキに見立てて木の板にディスプレイします。

このような木の体験は、ほかの自然素材との体験とともに、一度であっても強く印象に残り、大人になってもその感覚、感触を忘れないものです。

自然の素材は子どもたちの工夫して遊ぶ力を引き出します。より良い方法や手段を見つけ出そうと、理想とする形を思い描くことで新しいものをつくりだしていく創造力も高めていきます。



▲手作りシーソーで遊ぶ子どもたち

家作り▶



▼お店屋さん





## さつまいも掘り

毎年春、子どもたちが中心となって保育所の庭にさつまいもの苗を植えます。さつまいもは夏の暑さにも負けず、青々と葉を茂らせ多くの実をつけてくれました。秋には子どもたちみんなそろってさつまいも掘り。形や大きさは様々ですが秋の味覚の収穫を楽しみました。



## 火のかかわり

人は火というものを自然から学び、その利用法を獲得してきたことで多くの恵みを得てきました。

自然が生み出す火や炎を見ることが珍しくなった今、保育所でのたき火の経験は貴重な体験となります。

秋ー。恒例のさつまいも掘りを終えた子どもたちから「焼きいもしたい!」の声。

自分たちで落ち葉を集め、木切れを運んできます。葉っぱの湿り具合や木切れの大きさによって火の勢いが強くなったり、弱くなったりと、火をコントロールすること



▲たき火をする子どもたち



▲ほっかほかの焼きいもを食べましょう

は簡単なことではありません。

火が消えそうになると、子どもたちは「ふーふー」と一生懸命に息を吹きかけ、火を絶やさないう必死になります。

子どもたちは立ち上る煙に目を細めながらも、燃える炎に手をかざし、顔を真っ赤にしながらも、さつまいもが焼けるまで根気強く火の番をします。

このたき火体験から火の暖かさや和み、あるいは怖さを身をもって感じ取っていただけることでしょう。

## 自然の感触を覚える貴重な場

ある日、保育所を訪れたら子どもたちが切りっぱなしの木材を使って「シーソー」や「我が家」を作っていました。子どもたちの嬉しそうな顔や真剣な顔。

思ってもなかなか自然とふれあうことが少ないのですが、保育所では毎日

が自然とのふれあいや友達との楽しい時間。

様々なことを覚えて成長していくとても貴重な時期だなと感じます。

これからも色々なことをたくさん経験して、大きな広い心を持って元気に育ってほしいと思います。



気山保育所 保護者会  
会長 平尾充司さん  
(気山)